

私を野球につれてって (1949)

TAKE ME OUT TO THE BALL GAME
EVERYBODY'S CHEERING [英]

メディア 映画

ジャンル ミュージカル

製作国 アメリカ

時間 93分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

野茂投手の活躍のおかげですっかり日本でもお馴染みの“あの唄”が表題曲のMGMミュージカル。監督は幾何学振付のB・バークレイで、はっきり言って劇場未公開もむべなるかなという出来の作品だが、やはり嬉しいシナトラ&ケリーの「踊る大紐育」コンビの唄と踊り。大リーグも創生期の今世紀初頭、女性によって買収された野球チームの面々が、もっとお上品にプレイせよーとのお達しに牙を抜かれかかるが、そこはそれ、野球は男のスポーツさーの大団円がお定まり。脚本のつまらなさや無理矢理な笑いは致命傷寸前だが、それを救うのがヒロインのE・ウィリアムズの水中バレエ（なぜかプールを見つけて泳ぎ出す彼女）でないことだけは確か。やはり、まだほっそりとしてクルーナ歌唱方で甘く唄うシナトラと、粋なユニフォーム姿でバットやボールをさばきつつ踊るケリーあってこそこの映画である。

【クレジット】

監督	バスビー・バークレイ	Busby Berkeley
製作	アーサー・フリード	Arthur Freed
脚本	ハリー・テュージェンド	Harry Tugend
	ジョージ・ウェルズ	George Wells
撮影	ジョージ・フォルシー	George Folsey
作詞	ロジャー・イーデンス	Roger Edens
作曲	ベティ・コムデン	Betty Comden
	アドルフ・グリーン	Adolph Green
出演	フランク・シナトラ	Frank Sinatra
	ジーン・ケリー	Gene Kelly
	エスター・ウィリアムズ	Esther Williams
	ベティ・ギャレット	Betty Garrett
	エドワード・アーノルド	Edward Arnold
	ジュールス・マンシン	Jules Munshin
	ブラックバーン・ツインズ	
	サリー・フォレスト	Sally Forrest